

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(避難生活担当) 殿

都道府県名 市町村名 枚方市

個別避難計画作成モデル事業(市町村事業)最終報告書

令和4年度【内閣府事業】避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成の推進において、モデル事業(市町村事業)の実施にあたり、最終報告書を提出します。

【市町村情報、事業概要】

都道府県名 市町村名	枚方市			
所在地	〒573-8666 枚方市大垣内町2丁目1番20号			
担当部局連絡先	枚方市 危機管理部 危機管理対策推進課 【TEL】(072)841-1270[直通] 【FAX】(072)841-3092 【Mail】kikikanri@city.hirakata.osaka.jp			
連携部局連絡先	健康福祉部 健康福祉政策課 長寿・介護保険課 健康福祉部 福祉事務所 障害支援課			
事業概要	都道府県と一体的に行う事業で	ある	ない	○
	浸水想定区域内の自治会において、避難行動要支援者の安否確認と避難所(第1次避難所及び自治会が避難先として覚書を締結している福祉施設)への避難支援について、スキームの構築と個別避難計画の作成を目的にモデル事業を実施。			
備考				

※本様式は、10月20日時点で御提出いただいた「様式1-1 個別避難計画作成モデル事業(市町村事業)中間報告書」の内容と基本的に同様のものです。内容について更新等の必要がない場合、様式1-1と同じ内容をそのまま記載いただいて差し支えありません。

※記載内容を補足する資料があれば、必要に応じて添付してください。

※上記項目について、必要に応じ参考資料や補足資料を添付して差し支えありません。参考資料や補足資料はPowerPoint など任意の様式で可とします。(その場合は、項目の欄に参考資料が添付されていることを記載してください)

※任意の様式を使用する場合も、用紙サイズはA4判としてください。

※連絡先、担当者に変更があり、担当者名簿に変更が必要な場合、その旨を備考欄に併記してください。

市町村の事業概要等に関する取組の実施結果【大阪府 枚方市】

記載項目名	令和4年度末時点の状況
【1】 市町村事業名	枚方市個別避難計画策定推進事業
事業概要	浸水想定区域内の自治会において、避難行動要支援者の安否確認と避難所(第1次避難所及び自治会が避難先として覚書を締結している福祉施設)への避難支援について、スキームの構築と個別避難計画の作成を目的にモデル事業を実施。
【2】 事業実施体制 庁内の連携体制	避難行動要支援者名簿事業に係るプロジェクトチームの体制を構築。 危機管理部局(危機管理対策推進課) 福祉部局(健康福祉政策課、長寿・介護保険課、障害支援課)
【3】 事業実施体制 庁外との連携体制	1. 自治会 2. 福祉施設(小規模特別養護老人ホーム) 3. 枚方市介護支援専門員連絡協議会 4. 人と防災未来センター
【4】 モデル事業の実施 内容、実施方法	1. 実施主体 自治会 2. 概要 浸水のおそれがある自治会において、策定の優先度を整理しながら個別避難計画に基づく要支援者の安否確認及び避難所までの同行避難に係る体制と、支援者と要支援者について、個別避難計画に基づく支援体制をモデル的に構築する。
【5】 アピールポイント	自治会内の安否確認について、軒先や玄関先に「黄色い小旗」を掲げて安否を知らせる活動を実施。
【6】 事業による 成果目標	本モデル事業を実施することで、以下主な4つの成果を他校区、自治会等へ展開していく。 ①個別避難計画作成のための優先順位の決定。 ②個別避難計画の策定。 ③個別避難計画に基づく確実な避難の実施。 ④第1次避難所から福祉避難所への受入体制の構築。
【7】 事業実施 スケジュール	【実施予定】 ○2022年 ～6月:スキーム(案)の構築 6月5日(日):第1回安否確認・避難訓練 8月中旬 :出前講座にて本市災害リスクの説明や地域の課題の抽出等を行う 10月23日(日):第2回安否確認・避難訓練 11月3日(木):避難訓練(老人会の取組として実施し、要支援者が参加) ○2023年 3月19日(日):第3回安否確認・避難訓練(福祉避難所との連携)

【8】 特記事項	<p>上記事業実施スケジュールに加え、随時庁内連携部局により優先度や様式の検討、モデル地区外への展開等について検討を進めていく。</p> <p>【参考】避難行動要支援者プロジェクトチーム会議スケジュール</p> <p>○2022年</p> <p>5月10日(火):第1回避難行動要支援者名簿プロジェクトチーム会議 6月22日(水):第2回避難行動要支援者名簿プロジェクトチーム会議 8月30日(火):第3回避難行動要支援者名簿プロジェクトチーム会議 9月28日(水):第4回避難行動要支援者名簿プロジェクトチーム会議 10月14日(金):第5回避難行動要支援者名簿プロジェクトチーム会議 11月1日(火):第6回避難行動要支援者名簿プロジェクトチーム会議</p> <p>○2023年</p> <p>1月6日(金):第7回避難行動要支援者名簿プロジェクトチーム会議 2月14日(火):第8回避難行動要支援者名簿プロジェクトチーム会議</p>
-------------	---

※上記項目について、必要に応じ参考資料や補足資料を添付して差し支えありません。参考資料はPowerPointなど任意の様式で可とします。(その場合は、項目の欄に参考資料が添付されていることを記載してください)

※任意の様式を使用する場合も、用紙サイズはA4判としてください。

※【市町村の事業概要等に関する取組の実施結果】は1ページ以上2ページ程度としてください。

※【2】～【5】については、次の点を記載してください。[これ(最終報告)までに行った取組(検討したことを含む)、現時点における課題、課題を踏まえた対応の方向性]

※【2】及び【3】については、第4回ノウハウ共有ミーティングの意見交換会用資料として作成いただいた、「●●市の背景や取組の概要など」を基に記載してください。

応募の要件に関する取組の実施結果(大阪府 枚方市)

要件	令和4年度末時点の状況		
(A) 市町村の防災担当や福祉担当等の関係部署が共同して事業を実施する体制があること。	避難行動要支援者名簿事業に係るプロジェクトチームの体制を構築。 危機管理部局(危機管理対策推進課)と福祉部局(健康福祉政策課、長寿・介護保険課、障害支援課)が共同して事業を実施する。		
(B) 地域の介護・福祉に関する職種団体等、庁外の関係者と連携した取組であること。	要支援者の避難所として、地域の福祉施設(小規模特別養護老人ホーム)と連携して取り組んだ。 また、個別避難計画作成の優先度や計画様式の制定について、枚方市介護支援専門員連絡協議会等福祉専門職をはじめとする福祉専門職と連携し取り組んだ。		
(C) 個別避難計画を作成する者の優先度を検討し、要支援者の心身の	住民基本台帳人口 R5年3月1日現在 [人数] 396,016人	避難行動要支援者名簿に記載等されている要支援者 [人数(対人口比)] 12,172人(3%)	個別避難計画作成の優先度が高い要支援者 [人数(対人口比)] -人(-%)

<p>状況に応じた作成プロセスを構築する取組であること。</p>	<p>○優先度の考え方の概要 ①災害リスク ②心身の状況 ③孤立性の観点から優先度を検討。(検討中)</p> <p>○要支援者の心身の状況に応じた作成プロセスの概要 -</p>						
<p>(D)個別避難計画を実際に作成し、訓練など実効性の確保に取り組むこと。</p>	<p>個別避難計画の作成の取組方針</p>	<p>作成件数(実績)</p>		<p>作成件数(予定・見込)</p>			
		<p>R3年度</p>	<p>R4年度</p>	<p>R5年度</p>	<p>R6年度</p>	<p>R7年度</p>	<p>R8年度</p>
		<p>0</p>	<p>5</p>	<p>作成対象者を検討中</p>			
<p>○訓練など実効性を確保する取組の概要 ①第1回安否確認・避難訓練(6月5日(日)) ②第2回安否確認・避難訓練(10月23日(日)) ③避難訓練(11月3日(木)) ※老人会の取組として実施し、要支援者が参加。 ④第3回安否確認・避難訓練(3月19日(日))</p>							
<p>個別避難計画の様式を作成する上で留意した事柄。(留意したいと考えている事柄。)</p>	<p>支援者や要支援者の情報について、法定の要件を満たした上で、誰もが見やすいものであるよう留意した。また、支援者に団体を含める様式にすることで、実災害時に避難支援の実効性を高めるとともに支援者の心理的負担を軽減するものとした。</p>						
<p>(E)これまでにモデル地区などで先行的に実施した取組を市町村内の広い地域で展開すること。</p>	<p>モデル事業で得た成果や課題について整理し、他校区や自治会において個別避難計画策定の取組が進むよう市内広い地域で展開する。</p>						
<p>(F)作成の優先度が高い避難行動要支援者の個別避難計画の作成に令和3年度から5年間で取り組むこと。</p>	<p>作成の優先度が高い要支援者の個別避難計画の作成の取組方針</p>	<p>作成件数(実績)</p>		<p>作成件数(予定・見込)</p>			
		<p>R3年度</p>	<p>R4年度</p>	<p>R5年度</p>	<p>R6年度</p>	<p>R7年度</p>	<p>R8年度</p>
		<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>○5年間でどのようにして優先度の高い人の計画を作成するか(取組の概要)</p>							

【ステップごとの取組の実施結果】(大阪府 枚方市)

ステップ		実施結果 ◎,○,△,▲	記載事項	記載欄
1	庁内外における 推進体制の整備、個別避難計画の作成・活用方針の検討	○	課題	介護や障害、危機管理部局など複数の部局がまたがって取り組む事業であるため、連携を密にすることが必要。
			取組内容 (取組方針)	プロジェクトチームの開催により定期的に顔を合わせて協議する場を設ける。
			取組の 成果・結果	令和4年度8回実施。
			理由	福祉専門職が関わり作成する計画について、継続してプロジェクトチームで協議し、スキームの構築が必要。
2	計画作成の優先度に基づき対象地区・対象者を選定	△	課題	国のガイドラインが示す①災害リスク②心身の状況③孤立性の3つの観点から、真に支援が必要な要支援者の絞り込み。
			取組内容 (取組方針)	モデル事業での他市の事例を参考に、プロジェクトチームで検討の上、福祉専門職等と意見を交換しながら検討を進める。
			取組の 成果・結果	モデル事業での事例をプロジェクトチームで共有し、検討を進めている。また、災害リスクに居住する要支援者の情報を抽出するため、システム改修を行った。
			理由	障害のある対象者について優先度の検討が必要。
3	福祉や医療関係者等に個別避難計画の意義(目的、制度概要、作成の必要性等)や事例を説明	○	課題	①個別避難計画の様式について、枚方市介護支援専門員連絡協議会をはじめとする福祉専門職の知見を反映。 ②個別避難計画の策定における福祉専門職の関わり方を整理。
			取組内容 (取組方針)	枚方市介護支援専門員連絡協議会等の福祉職との意見交換会を実施。 また、人工呼吸器を装着した難病患者等の関わりについて、保健所と随時ミーティングを行う。
			取組の 成果・結果	福祉専門職等の団体との連携に向けた取り組みとして、災害リスクに関する勉強会を実施。危機管理部から市の災害リスクや個別避難計画の必要性などを説明した後、市内9事業者の連絡会(枚方市訪問看護ステーション連絡会、枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会、枚方市福祉用具貸与事業者連絡協議会、枚方市訪問介護事業者連絡会、枚方市デイサービス連絡協議会、枚方市介護支援専門員連絡協議会、枚方市地域包括支援センター、枚方市グループホーム連絡協議会、枚方市高齢者住まい連絡協議会(設立準備会))より代表者が、災害時における利用者の避難支援等について発表を行った。
			理由	福祉と防災の連携に向けた土壌づくりとして、一定の成果を得ることができた。
4	避難支援者となる自主防災組織や地区住民に個別避難計画の意義や事例を説明	◎	課題	地域における避難支援として、実施可能なものにする。
			取組内容 (取組方針)	個別避難計画における記載項目(様式)の確認や計画の策定について、モデル事業実施自治会の理解を得ながら取組を行う。
			取組の 成果・結果	個別避難計画の意義や事例説明に加えて、様式の確認や計画に必要な項目の設定などの段階から、避難支援者となる自主防災等と協議を行った。
			理由	予定どおり進んだもの。
5	市町村における本人の基礎情報の収集、関係者との事前調整等	◎	課題	避難支援関係者による避難支援の事前調整として、個別避難計画に記載が必要な項目の洗い出し。
			取組内容 (取組方針)	モデル事業での他市の事例を参考に、様式(案)を作成。モデル事業実施自治会及び福祉専門職等への確認を行う。
			取組の 成果・結果	計画に基づき避難支援等実施者(自治会)に協力を打診し同意を得た。
			理由	成果を十分得ることができた。

6	市町村、本人・家族、福祉や医療関係者等による個別避難計画の作成	○	課 題	本人や本人家族、福祉や医療関係者による計画の作成についてスキームを構築する必要がある。
			取組内容 (取組方針)	本人や本人家族が作成する計画については、来年度以降家具転倒防止対策に係る補助事業に併せて作成を予定。
			取組の 成果・結果	モデル事業で類似の方法により作成した団体を参考に継続実施。
			理 由	一定の成果を得ることができた。
7	作成したら終わりではなく実効性を確保する取組を実施	◎	課 題	定期的な訓練の実施。
			取組内容 (取組方針)	モデル事業実施自治会において、計画に基づく訓練を実施。
			取組の 成果・結果	計画作成前、後を含めて4回訓練を実施。
			理 由	成果を十分得ることができた。

◎:成果を十分得ることができた

○:一定の成果を得ることができた

△:あまり成果を得ることができなかった

▲:ほとんど成果を得ることができなかった

【事業の種類ごとの取組の実施結果】(大阪府 枚方市)

事業の種類	実施結果 ◎,○,△,▲,- を記載	令和4年度末時点の取組の概要・状況など
(ア)多様な災害リスクに対応した個別避難計画の作成に関するもの	◎	多様な災害リスクに対応した個別避難計画とするため、様式についてモデル事業実施団体の取組を参考に作成した。
(イ)特別支援学校に関するもの	-	
(ウ)難病患者等の医療的ケアを要する方に関するもの	-	
(エ)防災・減災の整備等と個別避難計画等のソフト事業との一体的な検討に関するもの	-	
(オ)大学等の有識者等との連携に関するもの	◎	様式について、人と防災未来センターに意見を伺うなど、連携して制定した。
(カ)避難訓練や更新等を実施などにより、顔の見える関係性を維持し実効性を確保するもの	◎	計画作成前、後を含めて4回訓練を実施。 来年度以降も継続し、顔の見える関係性を維持し実効性を確保する。
(キ)ケアマネ事業所等のBCPとの連携に関するもの	○	福祉専門職等の団体との連携に向けた取組みとして、災害リスクに関する勉強会を実施。事業所は、BCP作成に向け、市の災害リスクを把握するという観点からも参加。危機管理部から市の災害リスク等や個別避難計画の必要性などを説明した後、市内9事業者の連絡会(枚方市訪問看護ステーション連絡会、枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会、枚方市福祉用具貸与事業者連絡協議会、枚方市訪問介護事業者連絡会、枚方市デイサービス連絡協議会、枚方市介護支援専門員連絡協議会、枚方市地域包括支援センター、枚方市グループホーム連絡協議会、枚方市高齢者住まい連絡協議会(設立準備会))より、代表者が災害時における利用者の避難支援等について発表を行った。
(ク)施設入所者が在宅に移る場合の施設と市町村の連携に関するもの	-	
(ケ)デジタル技術の活用に関するもの	-	
(コ)その他のもの	○	第1次避難所に避難した要支援者について、心身の状況に応じて福祉施設への避難を実施する。 この取組みを通じて、要支援者と福祉施設への結びつけを検討していく。

◎:成果を十分得ることができた

○:一定の成果を得ることができた

△:あまり成果を得ることができなかった

▲:ほとんど成果を得ることができなかった

—:取り組んでいないもの

【研修会や説明会等の講師等の一覧】

氏名	所属・役職	研修会や説明会等	
		名称	概要
中原 良彰	危機管理部 危機管理対策推進課・主任	個別避難計画作成に係る説明会	要支援者に向けた個別避難計画作成についての説明会。
		枚方市の災害リスクについて～BCP 作成に必要なこと～	市内介護事業者に向けて、枚方市の災害リスクについての説明会。

【取組に参加している関係者の一覧】

取組の種類	概要(参加者等)	備考(巻き込む工夫など)
個別避難計画の作成に参加した関係者	【防災】 自治会、人と防災未来センター 【福祉】 枚方市訪問看護ステーション連絡会、枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会、枚方市福祉用具貸与事業者連絡協議会、枚方市訪問介護事業者連絡会、枚方市デイサービス連絡協議会、枚方市介護支援専門員連絡協議会、枚方市地域包括支援センター、枚方市グループホーム連絡協議会、枚方市高齢者住まい連絡協議会(設立準備会)	
地域調整会議	—	—
避難支援等実施者	自治会	
避難支援等関係者	枚方・交野警察署、枚方寝屋川消防組合、枚方市社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自主防災組織(自治会)	

避難訓練への参加者、参加機関や団体等	自治会	
その他		

※第4回ノウハウ共有ミーティングの意見交換会用資料として作成いただいた、「●●市の背景や取組の概要など」を基に記載してください。

【人員の確保状況】

個別避難計画の作成に関する人員体制			
部署名:危機管理部	専任(名)	常勤:	会計年度任用職員:
	兼任(名)	常勤:2	会計年度任用職員:
部署名:健康福祉部	専任(名)	常勤:	会計年度任用職員:
	兼任(名)	常勤:5	会計年度任用職員:
部署名:健康福祉部 福祉事務所	専任(名)	常勤:	会計年度任用職員:
	兼任(名)	常勤:2	会計年度任用職員:

【予算の確保状況】

個別避難計画の作成に関する予算	
令和3年度決算額	
令和4年度決算見込額	595,100円(モデル事業費)
令和5年度当初予算額	
特に予算措置なし	
(参考)避難行動要支援者数(人)	

※避難行動要支援者名簿や個別避難計画に関する予算がある場合、予算書の写しを添付してください。(公表されているもの)

【個別避難計画の周知、普及・啓発等のために作成したもの】

媒体の種別	実施内容の種別	概要(タイトル、URLなど)
紙媒体	広報誌	
	チラシ	
	ポスター	
	町内会や自治会などへの回覧物	個別避難計画作成に係る説明会の開催について(お知らせ)
	リーフレット	
	その他	個別避難計画の作成について～被災から得た教訓を活かして～ 避難行動要支援者名簿について～個別避難計画に係る取組み～
電子媒体	動画	
	広報誌	
	SNS	
	ウェブサイト	
	広報番組	
	その他	

【個別避難計画作成の取組のイメージをつかむのに役立つ報道や講演などの動画や資料など】

モデル事業資料

【参考にした他市町村、関係団体等の取組】

徳島県事業

【個別避難計画1件を作成するのに要した時間等】

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
のべ人数	-	2人	-	-	-	-	-
のべ時間	-	2時間	-	-	-	-	-